

関係各位

一般社団法人 栃木県病院薬剤師会
会長 須藤俊明
薬剤業務委員会
委員長 岩瀬利康

第60回臨床実例報告会・シンポジウムの開催について (ご案内)

〔日本薬剤師研修センター認定研修として2単位〕

〔日病薬病院薬学認定薬剤師研修会【研修番号：Ⅲ-2 0.5単位、Ⅱ-6 1単位】予定〕

会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
さてこの度、下記のとおり第60回臨床実例報告会・シンポジウムを開催
いたします。今回は県内の病院薬剤師の先生より緩和医療についてご発表いた
だきます。ご多忙とは存じますがご出席下さいますようお願い申し上げます。

記

- ◇日 時：平成29年11月10日（金）18：00～21：00
◇場 所：宇都宮グランドホテル 平安の間
栃木県宇都宮市西原町142 TEL：028-635-2111(代)
◇参加費：(社)栃木県病院薬剤師会 会員 500円
(社)栃木県薬剤師会 会員 500円
上記以外の参加者 1,000円

司 会：JCHO うつのみや病院 神山 眞由美 先生

* 話題提供：18:00～18:10

『経皮吸収型持続性疼痛治療剤 フェントステープ』

久光製薬株式会社 北日本第二統括部 栃木ブロック 北岡 伸夫 様

座 長：自治医科大学附属病院 霜 多 博 孝 先生

* 講演：18:10～19:00（Ⅲ-2：0.5単位）

『がん患者さんのイタミのアセスメントとマネジメント』

獨協医科大学病院 腫瘍センター 緩和ケア部門長 白川 賢宗 先生

* 報告8演題：19:00～21:00（Ⅱ-6：1単位）

- 報告 1 「終末期緩和ケアにおいてコルチコステロイドはせん妄のリスクを増加させるか？」
上都賀総合病院 中島 優子 先生
- 報告 2 「当院におけるアブストラル舌下錠に対する取り組み ～適正使用と問題点～」
獨協医科大学病院 岸 康博 先生
- 報告 3 「医療用麻薬を後発品などへ変更することは患者の経済的負担を軽減する方策となるか？」
自治医科大学附属病院 荒川 昌史 先生
- 報告 4 「モルヒネ塩酸塩持続皮下注(PCAポンプ)にて3か月にわたり在宅可能となった一例」
那須赤十字病院 内藤 裕之 先生
- 報告 5 「放射線粘膜炎に対してロカイン含有アルギン酸ナトリウムにて症状緩和した1症例」
足利赤十字病院 矢部 雅子 先生
- 報告 6 「オピオイド回診による当院の現状と課題」
佐野厚生総合病院 相田 和希 先生
- 報告 7 「当院におけるオピオイド注の初回導入時の処方実態調査」
済生会宇都宮病院 稲見 正幸 先生
- 報告 8 「自施設評価共有プログラムに参加して～緩和ケア病棟での薬剤師の関りを考える～」
栃木県立がんセンター 山崎 朋子 先生

* 当日は軽食のご用意がございます。

共催：一般社団法人 栃木県病院薬剤師会・久光製薬株式会社